

## 令和 7 年度(2025 年)

### (1) 学校教育目標

幼児児童生徒個々の障害の程度や発達段階に応じた適切な教育を行い、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、主体的に学び、生活する能力と態度・意欲を養い、健康でたくましく、心豊かに生きる力を身につけ、自立し社会参加する人材の育成を図る。

### (2) 具体的目標

#### ①めざす幼児児童生徒像

- 元気で明るく、自分のことを大切にする幼児児童生徒（健康）
- 自ら学び、創造性豊かな幼児児童生徒（主体）
- 協調性と思いやりのある幼児児童生徒（協力）
- 最後までねばり強く取り組む幼児児童生徒（自立）
- 自立し社会参加に向けて努力する幼児児童生徒（自律）

#### ②めざす学校像

- 幼児児童生徒の人格の完成をめざし、豊かな感性とじりつ（自立・自律）の心を育む学校
- 幼児児童生徒が一人一人に応じた生きる力を身につけ、社会参加と貢献をめざす学校
- 幼児児童生徒が、笑顔で心豊かに人と関わり、意欲を育て自己実現をめざす学校
- 幼児児童生徒や保護者、勤務する職員がつながり、「よかった」という「おもしろい」を実感できる学校
- 視覚障害のある幼児児童生徒が自らのもてる力の発揮や感覚を活用する力を育む学校。  
（「花と緑豊かで野鳥がすみ、様々な体験ができる安全な場の設定」）
- 本校の歴史を継承し、未来につながる視覚障害教育の拠点として地域に開かれ、信頼される学校

#### ③めざす教職員像

幼児児童生徒一人一人の人権を大切にし、それぞれの幼児児童生徒に応じた「自立し、社会に参加する」という目標達成に向けて、「児童生徒に教えることから常に学び続ける」ことができる教職員

- 児童生徒一人一人の視点に立ち、「良さ」の伸長に努める教職員
- 日々の教育活動に真摯に取り組み、実践の客観的な振り返りと改善・充実に努める教職員
- 特別支援教育の専門家として学び続ける教職員
- 教育公務員として自覚し、責任を持つ教職員
- 学校運営に対して広い視野に立ち、主体的に参画する教職員
- 保護者の思いや願いを共感的に理解するとともに、協働して児童生徒の「みらい」を考える教職員